



いぬやまやき 犬山焼のもようぬりえにちょうせん！

いぬやまやき 犬山焼とは、あいちけんいぬやまし愛知県犬山市で作られている焼き物です。その歴史は江戸時代までさかのぼります。ぬりえの元になったものは、いぬやまやき犬山焼のもようさんこうの参考にスケッチされたがちょう画帖です。
えし絵師の人がひと本を見たり、ほんお寺の文様などをスケッチしたりしたものです。
もと元になった資料をしりょう紹介します。



きぎ鷺でしょうか。
みずべ水辺にたたずんでいますね。



チョウやとり鳥をえがいています。



きれいなお花です
ね。これははな東大寺の
文様とうだいじをスケッチした
ものです。ぬりえ
はいちぶ一部をつかっ
ています。



きりん麒麟をえがいたものでしょうか。
きりん麒麟とは王様がひと人に優しい政治を行
ったときにあらわ現れるせいじゅう聖獣といわれてい
ます。世の中がよ平和な証あかしですね。



とり鳥がそれぞれえがかれていま
す。とてもシンプルですね。
これもとうだいじ東大寺のもんよう文様をスケッ
チしたものです。

いぬやまやき犬山焼にはさまざまなもんよう文様
があるぞ。花やはな鳥とりだけでなく、
ふね船もえがかれているぞ！わし
ももんよう文様のひとつなんじゃぞ

